

国立大学法人富山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和8年7月9日(木) 事務局共用会議室2-1	
委 員	委員長 大浦 清和(弁護士) 委 員 梶谷 昭(公認会計士・税理士) 委 員 福富 基之((一財)富山県建築住宅センター専務理事)	
審議対象期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
抽 出 案 件 (合 計)	6 件	(備考)
建設工事(小計)	5 件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	5 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1 件	
標準型プロポーザル方式	0 件	
公募型競争入札方式	0 件	
簡易公募型競争入札方式	0 件	
一般競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

質 問	回 答
1. 国立大学法人富山大学において発注した建設工事について（令和7年4月～令和8年3月分） （財務施設部より説明） ・ 特になし 2. 建設工事における抽出案件の審議 （財務施設部より説明） ・ 特になし	・ 特になし ・ 特になし
案件1；附属病院北病棟5階HCU病床改修電気設備工事 ・ 等級の設定について、「一般競争参加者の資格制限（平成13年1月6日文部科学省大臣決定）」を準用しているとあるが、当該資格の等級の上位を加えたものが工事によって違っているように見える。一般競争参加者の資格制限において、そのように定められているのか。 ・ 参考に、他の工事においてA、B、C、Dの等級設定となっていた工事があったが、これはどういった経緯で定められたのか。 ・ 不調などが発生するのであれば、前もって等級制限しないということはしないのか。 ・ 入札調書について、1回目の入札金額と落札となった最終の見積金額との間で差額が発生しているが、直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の削減が適切かどうか契約後に各費目の内訳を確認しているか。 案件2；附属病院北病棟5階HCU病床改修機械設備工事	・ 一般競争参加者の資格制限では、予定価格の金額により等級の基準と加えることができる範囲が定められており、上位を加える場合は当該資格の等級の二級上位までとなる。 ・ 通常は、一般競争参加者の資格制限を準用して等級を設定するが、当該工事は1回目の入札が不調となり、再公告を行うにあたって等級制限を行うと参加者が見込めないことから、当該工事に限り競争参加資格等審査委員会において資格制限を設けないこととした。 ・ 参加者が少なく不調となるかどうかは、一度入札公告を行わないと分からないため、最初から制限を外すことは難しいと考える。 ・ 契約金額の直接工事費及び経費内訳については、契約後に内容が適切かも含め確認している。

質 問	回 答
・病院の改修工事の場合、参加者が少なくなるのには理由があるのか。 ・点検項目で高落札率となっているが、大学側として手続きについて追加のチェックをしているのか。	・今回、病棟5階フロアの改修工事となり、上下階は患者様が入っておられる状況で工事を行うため、騒音・振動の対策が通常より厳しく求められる。また、HCU病床という高度治療室の病室整備となるため、技術的にも難しい工事となることから、参加を見送る業者もいたと考えられる。 ・追加のチェックは行っていない。落札率は工事によって様々である。
案件3；(五艘他) 照明設備改修工事 ・低入札価格調査では、業者から見積書等を提出してもらい内容を確認していると思うが、予定価格との差額が大きい。具体的には直接工事費の照明器具が安かったからか。 ・他の参加業者の金額も低かったので、全般的に掛け率が低くてもよかったのではないか。 ・低入札価格調査の実施時期は、開札があった直後に行うのか。 ・低入札価格調査の実施概要が作成される前段階として、裏付けとなる根拠資料を提出してもらっているということか。	・既存照明設備をLED照明に交換する工事は、多くの業者の参加が見込まれる工事であり、業者間における入札金額の違いについては、照明器具の単価が安かったこと、積算方法も1台ごとの積み上げによること、外注ではなく自社施工であることが価格差の要因と考える。 ・本学において、査定率は過去の実績から毎年見直ししている。 ・そうである。 開札後、入札金額が調査基準価格である最低基準価格を下回った場合は、保留となり評価値の最も高い者から低入札価格調査を実施する。調査後、問題がなければ落札決定となる。 ・そうである。
案件4；(高岡) 照明設備改修工事 ・LED改修工事は安くなる傾向があるのか。 ・4者の応札者のうちA等級が1者、B等級が3者となっている。 A等級の業者の方が、実績も豊富で技術者も大きい工事を受注するので加算点が高くなる傾向があるように思われる。同じ土俵での競争とな	・照明器具の交換なので、安くなる傾向がある。 ・苦情の申出はない。 総合評価落札方式では、施工実績等の評価項目による点数と金額を評価して評価値を算出している。実績の有無により点数の高低は付くが、等級の影響があるかはわからない。

質 問	回 答
ることから、B等級の参加者から条件について苦情がないか。 ・ 工事費の内訳で、項目別でどこが乖離しているか確認しているか。 ・ 参加者の間でも倍以上の金額の開きがあり、スケールメリットを理由に説明できるものなのか。どの項目で大きく金額が違っていたのか。	・ 低入札価格調査において、直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の項目別の差異について確認しており、差異が大きい項目に注目して調査をしている。 ・ 差額の大きかった項目は、直接工事費の項目である。割引率の違いがあった。 直接工事費の項目では、予定価格の半額以下の金額だった。仕入れ価格は、各業者の長年の取引によるところもあり会社によって異なる。また、仕入れ価格にどの程度の利益を計上するかは各会社の考えによるため価格差が付くと考ええる。
<u>案件5；附属病院災害・救命センター3階ICU 病床改修その他工事</u> ・ 3階ICU工事は、抽出案件以外の電気設備、機械設備も1者参加であったが、工事は難しい内容か。 ・ 件名がその他工事となっているが、その他はどのような内容か。 3．国立大学法人富山大学において発注した設計・コンサルティング業務について（令和7年4月～令和8年3月分） （財務施設部より説明） ・ 特になし 4．設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 （財務施設部より説明）	・ 現在、附属病院では病院再整備工事を進めており、本工事とは別に契約済みの附属病院MRI棟等新営その他工事において災害・救命センターの1階、2階部分の改修を先行して行っている。 今回、新たに3階の工事を行うこととなり、工事を実施する際に1階、2階の改修工事の業者と所掌の調整が必要となる。また年末の工事となるため参加条件が難しくなった可能性がある。 ・ ウォールケアユニット 一式が含まれている。 ・ 特になし

質 問	回 答
・ 特になし 案件 1 ; (五福) 共通研究棟等改修設計業務 (建築) ・ 設計業務の内訳の提出は求めているか。 ・ 人工数や図面枚数により予定価格の算出をする と思うが、今回は専門業者から徴収した見積等を 査定して作成したのか。 ・ 設計業務のプロポーザル方式は、評価の高い業 者を選定した上で、最後に特定された 1 者から 見積書を提出してもらい、金額を決定するとい う方法でよいか。 ・ 設計額の概算額は示さないのか。 ・ 見積書の提出に至ったが、金額によっては辞退 される場合はあるか。 5. 指名停止等の措置状況について (財務施設部より説明) ・ 低入札価格調査中に辞退した場合は、指名停止 となるのか 6. その他 ・ 特になし 以上	・ 特になし ・ 求めていない。 ・ 予定価格の算出時においては、設計業務等積算 基準に基づいて、人工数や図面枚数から算出し ている。人工数では算出できないパースの作成 や省エネルギー適合判定等の業務については見 積による。 ・ そうである。 ・ 選定過程で示すことはない。 ・ 実際に辞退となったケースはない。制度上、辞 退された場合は、次順位の者に見積書の提出を 求めることとなる。 ・ 文部科学省の建設工事の請負契約に係る指名停 止等の措置要領によると、指名停止となる。 ・ 特になし